

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	41 三和支所施設管理事業											
事業担当	所属	02080000 地域振興部 三和支所					所属長	三和支所長 岡部晴朗				
会計情報	事業コード	810441	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	05 財産管理費	会計	01 一般会計	決算付属資料	頁
施策体系	施策コード	070101	施策名	時代のニーズに即応した行政経営の推進をする								
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名							
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業を統合											
関連事業	三和支所一般管理事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	市域東部地域の行政サービスの拠点として機能を維持する。											
対象者	支所利用者数	対象者数	15,000	単位あたりコスト	0.4							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	三菱電機ビルテクノサービス(株)、川重冷熱工業(株)、(社)福知山市シルバー人材センター他											
事業概要 (箇条書き)	三和支所庁舎等の施設及び公用車両の管理経費の支出											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容									
	二次公表時記載											

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	10,605	10,774	31,053	予算編成時記入 (3次公表時)
	② 補正予算	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	
	小計(①～③)	10,605	10,774	31,053	
予算財源内訳	① 一般財源	9,757	10,201	10,197	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	20,000	
	⑤ その他特財	848	573	856	
決算情報	① 流充用額	△ 974	二次公表時記載	0	0
	② 配当予算	9,631	10,774	0	0
	③ 執行額	9,611	二次公表時記載	0	0
	④ 執行率	99.8%	二次公表時記載		
人概工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.81 / 0.00	0.81 / 0.00	0.81 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	6,480	6,480	6,480	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	16,091	6,480	6,480	0	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	支所利用者数	人	13,552/15,000	13533 / 15000	11321 / 15000	/ 15000	15000
			0	0 / 0	0 / 0	/	0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	在勤職員数	人	18/18	18 / 18	18 / 18	/ 18	17
	単位あたりコスト		637.6	534.0			
	支所管理経費	千円	11,476/11,507	9611 / 10605	10294 / 10774	/ 31053	0
	単位あたりコスト		-	-			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	市東部地域の行政サービスの拠点として継続して管理運営を行なう。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは適切な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	支所の機械設備等が老朽化しており、施設そのものに係る経費が増幅傾向にあるが、コストダウンに努め、効率的な維持管理を行っている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	市東部地域の行政サービスの拠点として有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	住民に対するサービスの拠点施設として管理運営を継続する。		
これまでの課題及び今後の方向性	冷暖房設備の老朽化に伴い大規模改修が必要。 施設マネジメントに基づき、支所の有効活用の方向性を策定する必要がある。放課後児童クラブ、地域図書館の移設先を検討する。 利用者の安全確保のため、令和3年度に耐震強化を目的としたエレベーターの大規模改修実施する。 令和3年度から新橋サンダル公園管理事業を統合する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	37 三和支所一般管理事業											
事業担当	所属	02080000 地域振興部 三和支所				所属長	三和支所長 岡部晴朗					
会計情報	事業コード	810437	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	01 一般管理費	会計	01 一般会計	決算付属資料	頁
施策体系	施策コード	070101	施策名	時代のニーズに即応した行政経営の推進をする								
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名							
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合											
関連事業	三和支所施設管理事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	住民に対するサービスの拠点施設である三和支所を適正に運営する。											
対象者	支所利用者	対象者数	15,000	単位あたりコスト	3.6							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	三和地域協議会、マンマシン(株)、(有)京都事務機販売											
事業概要 (箇条書き)	・三和支所の臨時職員(宿日直)賃金、役務費(郵便、電話)、委託料(コピー機リース)など一般的な事務経費の管理 ・三和地域協議会に自治会等連携・支援業務(自治会長会の開催、自治会長文書の配布、無線放送の吹込み)を委託する ・防災行政無線の維持管理											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容									
	二次公表時記載											

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	9,646	9,941	9,907	予算編成時記入 (3次公表時)
	② 補正予算	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	
	小計(①～③)	9,646	9,941	9,907	
予算財源内訳	① 一般財源	9,311	9,606	9,672	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	335	335	235	
決算情報	① 流充用額	1,355	二次公表時記載	0	0
	② 配当予算	11,001	9,941	0	0
	③ 執行額	11,001	二次公表時記載	0	0
	④ 執行率	100.0%	二次公表時記載		
人概工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	4.00 / 0.00	6.59 / 0.78	6.59 / 0.78	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	32,000	54,670	54,670	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	43,001	54,670	54,670	0	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	支所利用者数	人	13,522/15,000	13533 / 15000	11321 / 15000	/	15000
			0	0 / 0	0 / 0	/	0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	在勤職員数	人	18/18	18 / 18	18 / 19	/	19
	単位あたりコスト		389.3	611.2			
	支所管理経費	千円	7,007/7,085	11001 / 9681	10138 / 9941	/	0
単位あたりコスト		-	-				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	市東部地域の行政サービスの拠点として継続して管理運営を行なう。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	最低限の予算で運営している。賃金を除いた物件費から見ると効率性は高い。コピー単価の一覧を張り出すなど、コスト意識を高めるとともに、こまめな消灯を行うなど節電を徹底することでコストの削減をしている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	市東部地域の行政サービスの拠点として有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	支所機能を維持するうえで必要最低限の経費であり、今後も必要である。		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・市東部地域の行政サービスの拠点施設として継続して管理運営を行う。 ・人口減少により、地域が衰退していく中、様々な課題に対応していくため、地域協議会と協働し、住民の日常生活を支え、祭りや伝統文化の維持をはじめとするコミュニティ活動や交流を推進していく。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	64 お試し住宅管理事業(三和地域)											
事業担当	所属	02080000 地域振興部 三和支所					所属長	三和支所長 岡部晴朗				
会計情報	事業コード	530164	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	頁
施策体系	施策コード	060501	施策名	福知山市への移住・定住支援を強化する								
計画期間	開始年度	平成28年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名							
根拠法令等	福知山市お試し住宅条例											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	市外から福知山市へ移住を希望している人が一定期間本市の気候、風土及び生活を体験できる施設として、市営みわ上川合住宅(二戸一棟)をお試し住宅として整備し、移住・定住の促進につなげることを目的とする。											
対象者	市外の市民	対象者数	4	単位あたりコスト	260.0							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	市営みわ上川合住宅(二戸一棟)の修繕や備品購入等を行い、移住希望者の受け入れ態勢を整える。											
事業概要 (箇条書き)												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容									
	二次公表時記載											

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	389	390	306	予算編成時記入 (3次公表時)
	② 補正予算	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	
	小計(①～③)	389	390	306	
予算財源内訳	① 一般財源	239	240	156	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	150	150	150	
決算情報	① 流充用額	△ 277	二次公表時記載	0	0
	② 配当予算	112	390	0	0
	③ 執行額	47	二次公表時記載	0	0
	④ 執行率	41.8%	二次公表時記載		
人機工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.13 / 0.00	0.13 / 0.00	0.13 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	1,040	1,040	1,040	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,087	1,040	1,040	0	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	管理戸数	戸	2 / 2	2 / 2	2 / 2	2 / 2	/ 2
入居戸数	戸	2 / 2	2 / 2	2 / 2	2 / 2	/ 2	2
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	修繕箇所	か所	1 / 2	2 / 2	0 / 2	/ 2	2
	単位あたりコスト		152.0	23.4			
			/	0 / 0	/ 0	/	0
単位あたりコスト		0.0					

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	人口増加につなげるとともに、都市圏の移住希望者の支援策として必要。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	お試し住宅使用料を徴収し、歳入を確保している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	お試し住宅に一定期間居住することで、地域の魅力を感じて、定住につながる。R2年度も1件の定住者があった。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	平成28年度からの事業開始後、入居者が途切れることなくある。都市部から見ると田舎暮らしが魅力であり、応募者多数で入居選定を行っている。地元の受入れ態勢が手厚く、退居後も三和地域への移住につながっている。移住率は約80%と高い。		
これまでの課題及び今後の方向性	移住後も三和地域協議会と連携し、移住者交流会などで移住の推進、移住後の支援を行っていく必要がある。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	57 菟原下定住促進住宅用地販売促進事業											
事業担当	所属	02080000 地域振興部 三和支所					所属長	三和支所長 岡部晴朗				
会計情報	事業コード	510457	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	頁
施策体系	施策コード	030401	施策名	住宅・宅地の整備を推進する								
計画期間	開始年度	平成28年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名							
根拠法令等	福知山市定住促進住宅用地分譲要綱											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	平成12年6月に買い取った大松機業の工場等の老朽化に伴い、部材が周囲に飛散するなど危険な状態になっていた。平成26年度から28年度にかけ、既存建物の解体撤去を行い、跡地は定住促進住宅用地として分譲し、地域活性化を図る。											
対象者	市内外の住民					対象者数	80,000		単位あたりコスト	0.0		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	・5区画の造成をおこなった。 ・平成30年度に事業棚卸しを実施した。 ・令和元年度に2区画を売却した。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容									
	二次公表時記載											

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	369	421	421	予算編成時記入 (3次公表時)
	② 補正予算	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	
	小計(①~③)	369	421	421	
予算財源内訳	① 一般財源	369	421	421	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	△ 9	二次公表時記載	0	0
	② 配当予算	360	421	0	0
	③ 執行額	280	二次公表時記載	0	0
	④ 執行率	77.9%	二次公表時記載		
人機工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.15 / 0.00	0.15 / 0.00	0.15 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	1,200	1,200	1,200	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,480	1,200	1,200	0	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	販売区画	区画	0/5	2 / 5	0 / 3	/ 3	0
			0	0 / 0	0 / 0	/	0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	広報周知	回	10 / 10	3 / 10	3 / 10	/ 10	40
	単位あたりコスト		36.8	93.3			
			0	0 / 0	0 / 0	/	0
	単位あたりコスト		0.0				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	旧三和町が平成12年6月に買い取った工場跡用地を地元の要望及び地域の課題解決に有効に活用する。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	比較的手頃な価格で住宅地を提供することにより、市有地の有効活用と過疎など地域の課題に有効な事業であり、適切な投資であると考ええる。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	地元から定住に結びつく整備の要望があり、跡地を整備し、三和地域の定住促進住宅用地として、分譲することにより、人口の減少を食い止める。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	分譲価格も下記のとおり、安価(198万円~253万円)なうえ、下水道負担金50万円も含まれているため、購入価格では大きなメリットがある。静かな環境での子育てに適しているという点もメリットである。		
これまでの課題及び今後の方向性	定住促進に向けた用地販売を行うため、市内外(長田野工業団地アネックス三和や都市部での移住フェア)に向けた広報等の情報発信を継続して実施する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	56 三和支所きめ細かな安心安全事業											
事業担当	所属	02080000 地域振興部 三和支所					所属長	三和支所長 岡部晴朗				
会計情報	事業コード	510456	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	頁
施策体系	施策コード	030104	施策名	集落環境を保全・整備する								
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名							
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	地域の実情や緊急性を勘案したきめ細かで迅速な対応により、住民満足度の向上を図る。										
対象者	三和地域市民					対象者数	3,116		単位あたりコスト	0.3	
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等											
事業概要 (箇条書き)	住民の安心安全を確保するため、重要かつ緊急に対処しなければならないと支所長が判断した事業を実施・市道側溝修繕等(3件)										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容								
	二次公表時記載										

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	500	500	500	予算編成時記入 (3次公表時)
	② 補正予算	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	
	小計(①～③)	500	500	500	
予算財源内訳	① 一般財源	500	500	500	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	△ 24	二次公表時記載	0	0
	② 配当予算	476	500	0	0
	③ 執行額	476	二次公表時記載	0	0
	④ 執行率	100.0%	二次公表時記載		
人環工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.13 / 0.00	0.13 / 0.00	0.13 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	1,040	1,040	1,040	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,516	1,040	1,040	0	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
				/	0 / 0	0 / 0	/ 0
			/	0 / 0	0 / 0	/ 0	0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	道路修繕	回	5 / 4	3 / 4	3 / 4	/ 4	4
	単位あたりコスト		98.6	158.8			
			/	0 / 0	0 / 0	/ 0	0
	単位あたりコスト		0.0				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	三和地域における住民生活の安心・安全確保の点で事業は必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	緊急的な小規模事業を支所長判断により対応できる利点がある。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	地域の実情に合わせた対応が出来ることから有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	他の部署で即時対応が困難であった案件等に対し、支所長裁量で迅速な対応ができ、住民生活の安心安全を確保することができた。 【定性的評価】		
これまでの課題及び今後の方向性	きめ細やかな対応に対して市民満足度も高く、住民生活の安心・安全確保のため、今後も事業を継続する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入 (3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	12 三和地域活性化事業											
事業担当	所属	02080000 地域振興部 三和支所					所属長	三和支所長 岡部晴朗				
会計情報	事業コード	130312	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	頁
施策体系	施策コード	060301	施策名	観光客の増加を促進する								
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名							
根拠法令等	福知山市三和ふれあいフェスティバル事業補助金交付要綱、福知山市みわ夏まつり事業補助金交付要綱											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	三和ふれあいフェスティバル及びみわ夏まつりに補助金を交付する事業である。 三和ふれあいフェスティバルは、三和地域最大のイベントとして地元団体等で構成される実行委員会が企画、運営し、住民が主体的に参加する手作りイベントとして実施する。屋外模擬店や農産物品評会・販売のほか、作品展示、舞台発表など生涯学習の発表の場として、子どもから高齢者まで幅広い世代の参加と地域力を高揚させるイベントとなっており、また、三和地域の取り組みを外部に発信することにより、地域の振興及び活性化を図ることを目的としている。 みわ夏まつりは、三和地域の住民で構成される実行委員会が、三和地域の拠点施設である三和荘を中心として、地域住民及び帰省者の交流やイベントなどを行い地域の活性化を図ることを目的としている。											
対象者	三和地域の市民及び一般参加者					対象者数	4,500	単位あたりコスト	0.3			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	・8月14日開催予定であった、みわ夏まつりは新型コロナウイルス感染症の影響で、4月20日のみわ夏まつり実行委員会幹事会で中止の判断となった。 ・11月7日(土)、8日(日)開催予定であった、三和ふれあいフェスティバルは新型コロナウイルス感染症の影響で7月30日の三和ふれあいフェスティバル実行委員会での中止の判断となった。 ・開催された場合、実行委員会に交付金を支払う。											
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容									
	二次公表時記載											

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	500	950	1,050	予算編成時記入 (3次公表時)
	② 補正予算	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	
小計(①～③)	500	950	1,050		
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	500	950	1,050	
決算情報	① 流充当額	424	二次公表時記載	0	0
	② 配当予算	924	950	0	0
	③ 執行額	924	二次公表時記載	0	0
	④ 執行率	100.0%	二次公表時記載		
人機工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.24 / 0.10	0.17 / 0.05	0.17 / 0.05	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	2,170	1,485	1,485	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	3,094	1,485	1,485	0	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	来場者数	人	4000	4000 / 4500	中止 / 4500	/ 4500	4500
延べ参加団体数	団体	64	68 / 65	中止 / 65	/ 65	65	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	実行委員会開催回数	回	9/9	9 / 9	2 / 9	/ 9	9
	単位あたりコスト		111.1	102.6			
	単位あたりコスト		/	0 / 0	0 / 0	/ 0	0
単位あたりコスト		0.0					

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもから高齢者まで幅広い参加があり、文化的活動の発表の場として、また自主運営による手作りのイベントとして、地域の活性化と交流につながる重要なものである。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・参加団体から参加費を徴収するなどイベントの財源の一部を確保するよう努めている。 ・地元の資源を利用した効率的な手づくりイベントである。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・三和地域の活性化には大きな影響をもたらすイベントである。 ・次世代への地元文化等の継承や人材育成に有効なイベントである。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> ・参加団体は年々増加しているが、このことは、当地域が人口減、高齢化が進行する中で模擬店の出店、文化活動の発表の場を求める人やグループが増えていることであり、日ごろ文化活動を行う住民の増加や活動内容の多様化の受け皿として、また、地域の自主運営を基底にした参加型イベントとして定着してきたものと評価している。 ・令和2年度は、「三和ふれあいフェスティバル」と「みわ夏まつり」とも新型コロナウイルス感染症の影響でやむを得ず中止した。 		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・将来的に人口の減少、高齢化の進行が予想されることから、自治組織や団体の弱体化、人材不足に伴うイベントそのものの存続が危惧される。 ・本イベントが地域の活性化に繋げられるよう意識し、地域自体が主体性を持って運営する持続可能な身の丈に合った内容を検討していく必要がある。 ・三和ふれあいフェスティバルは、三和地域外からも多数の参加がある三和地域における最大のイベントである。住民が主体のイベントで、地元団体等で構成される実行委員会が運営する。事務局は三和地域協議会。昭和40年代の三和町時代の農林業祭からスタートし、現在では作品展示、舞台発表、屋外模擬店及び農林産物品評会・販売、各種啓発の場となっている。 ・みわ夏まつりは、三和地域の拠点施設である三和荘を中心としてステージイベントやビンゴゲーム大会、鉄道模型電動カーこども乗車会、夜店、花火大会を行い地域住民の交流を図っている。 ・実行委員会において京都アネックス三和の立地企業も含めた町内の企業や市民に寄付金を募ることにより自主財源を確保していく。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	31 新橋サンダル公園管理事業											
事業担当	所属	02080000 地域振興部 三和支所					所属長	三和支所長 岡部晴朗				
会計情報	事業コード	130231	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	頁
施策体系	施策コード	040402	施策名	環境保全活動を推進する								
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名							
根拠法令等	新橋サンダル公園施設管理協定書											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
R3現在の状況	<input type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	豊かな自然の中で共に安心して安全に暮らせるまちづくりを目指し、市民はもとより、市域外からの利用がある京都府所管施設「新橋サンダル公園」の維持管理を行うことを目的とする。 大規模管理事業は京都府、小規模管理(除草等)は福知山市で実施。											
対象者	市民及び市外からの利用者					対象者数	3,600		単位あたりコスト	0.1		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	(社)福知山市シルバー人材センター											
事業概要 (箇条書き)	京都府所管の施設である新橋サンダル公園の維持管理経費											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容									
	二次公表時記載											

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	234	234	0	予算編成時記入 (3次公表時)			
	② 補正予算	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0				
	小計(①～③)	234	234	0				
予算財源内訳	① 一般財源	234	234	0				
	② 国支出金	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	△ 67	二次公表時記載	0	0	0		
	② 配当予算	167	234	0	0			
	③ 執行額	167	二次公表時記載	0	0			
	④ 執行率	100.0%	二次公表時記載					
人機工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.04 / 0.00	0.04 / 0.00	0.04 / 0.00	0.00	0.00	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	320	320	320	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	487	320	320	0				

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	公園利用者数	人	3,000 / 3,600	3000 / 3600	3000 / 3600	/ 0	3600
			0	0 / 0	0 / 0	/ 0	0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	除草回数	回	2/2	1 / 2	1 / 2	/ 0	2
	単位あたりコスト		111.5	166.6			
			0	0 / 0	0 / 0	/ 0	0
	単位あたりコスト		0.0				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	市、内外の住民の憩いの場であり、農山村や自然環境の持続的な保全管理を継続する。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	必要最小限の予算で運用しており、事業の効率性は高い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	市、内外の住民の憩いの場であり、農山村や自然環境に触れ合える公園として交流の場として有効である。 キャンプもできる公園として紹介されるなど、利用者に親しまれている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	市内外の市民の憩いの場であり、農山村や自然環境の持続的な保全管理を維持している。		
これまでの課題及び今後の方向性	京都府との施設管理協定書に基づき、公園の維持管理を継続していく。 利用者によるごみの投棄が発生している。利用者のモラル向上の対策が必要である。 三和支所施設管理事業に統合する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入 (3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	28 地域農業者ネットワークづくり事業											
事業担当	所属	02080000 地域振興部 三和支所					所属長	三和支所長 岡部晴朗				
会計情報	事業コード	130228	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	頁
施策体系	施策コード	060104	施策名	農産物の生産・加工・流通・販売力を高め、1次産品のブランド化・6次産業化などを推進する								
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名							
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	農林産物の販売方法の多様化を進め、三和地域及び福知山市全体で協力体制を構築する手法を検討し、持続可能な農山村の維持に繋げる。											
対象者	三和地域の市民					対象者数	3,116		単位あたりコスト	0.9		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	地域おこし協力隊員											
事業概要 (箇条書き)	・三和地域の基盤産業である農林業の振興による活性化を図るため、「地域おこし協力隊員」を募集し、協力隊員を任用した。 ・「地域おこし協力隊員」は、都市地域から過疎地域等に移住し、一定期間(平成30年8月1日から令和3年7月31日までの3年間)、地域に居住して、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこしの支援、農林業への支援、住民の生活支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図るものである。 ・「地域おこし協力隊員」のミッションとして、「三和地域の農業(農業者)を元気にする」ことを掲げ、目的を達成するために、「新規農産物等の販売機会を増やす」ことを戦略として、大阪の商店街での販売、販売機会への農家の登録、農業者のネットワーク、新規農業者の支援、特産物や商品の開発と商品化などを戦術として実行する。 ・行政の役割は、地域と「地域おこし協力隊員」の間を取り持つ調整役として隊員を支えることである。 ・隊員の取り組み状況については、毎日の日誌の内容を確認することで、コミュニケーションをとり、アドバイスや情報交換を行っている。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)					主な業務内容					
	二次公表時記載											

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	3,042	3,179	1,086	予算編成時記入 (3次公表時)			
	② 補正予算	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0				
小計(①~③)	3,042	3,179	1,086					
予算財源内訳	① 一般財源	3,042	3,179	1,086				
	② 国支出金	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	2,622	二次公表時記載	0	0			
	② 配当予算	5,664	3,179	0	0			
	③ 執行額	5,664	二次公表時記載	0	0			
	④ 執行率	100.0%	二次公表時記載					
人機工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.35 / 0.04	0.35 / 0.04	0.35 / 0.04	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	2,900	2,900	2,900	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	8,564	2,900	2,900	0				

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標	
	新規農産物等販売機会数	回/年	0	4 / 3	0 / 4	/	2	5回/年(12月)
販売機会への登録農家数	戸	0	8 / 13	8 / 33	/	40	40戸(累積)	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標	
	団体等との協議等	回/年	50/50	153 / 50	206 / 50	/	50	50回/年(12月)
	単位あたりコスト		44.6	37.0				
			0	0 / 0	0 / 0	/		0
	単位あたりコスト		0.0					

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> 地域おこし協力隊員の外部からの視点による自由な発想と、制約のある行政職とは違った柔軟で可動域の広いネットワークにより、新しい農業振興の方法を想起することができる。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 新しいアイデアや都市部との交流の深化等により、農業を基幹的産業とする三和地域、さらには市の農業が振興し、全体的な経済的効果が期待できる。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 農産物の生産量の低下という現実的な課題の把握と克服に向けた考察を行い、販路拡大や流通の強化に向けて取り組んでいる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>地域おこし協力隊員は地域に積極的に入り込み、会議への出席や現場で農業の実地体験を行うなど農家との良好な関係を構築するとともに、三和地域の農業団体、農業生産組織、主要な農家と連携して、地域の農業の最新の現状、課題を把握し、農業振興による地域の活性化をめざして活動している。その成果は短期間で現れるものではないが、令和3年7月に協力隊員の任期が終了するため、協力隊員が行った活動の成果、取組が、次の取組につながるよう記録として残す。</p> <p>令和元年度は、ぶどう収穫お助け隊や京都丹波農作業お助け隊を実施し、地域のぶどう収穫や農作業の手助けを行うことで、地域振興につなげていくことや、新規の農産物等の販売機会を増やす目的のため、大阪府都島区のまちづくりセンター・蕪村通り商店街等で地域農産物の紹介を行った。大阪府都島区蕪村通り商店街での野菜市、大東さくら祭、淀川神社青空市、三和町の夕焼け市の4か所で三和町の野菜の販売機会を設けた。また万願寺とうがらしを使用した新商品の開発を福知山淑徳高校に依頼をし、「紅の京顔麺」を開発を行った。</p> <p>令和2年度は、令和元年度で実施した活動を生かし、農村環境を利用した体験型の催し(ぶどう収穫お助け隊等)を実施し、農業を知っていただくことにより地域振興につなげた。販売機会については、新型コロナウイルス感染症の影響で、実施できなかった。また、高見製麺所の研究開発に協力し、一般的な緑の万願寺とうがらしを使用した翡翠麺を商品化した。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>高齢化する農家の後継者不足や農業生産組織の弱体化の中での農業関係者との協力体制と農林産物の年間を通した安定的な確保。販路開拓に向けた市場の開拓及び顧客の確保等。</p> <p>三和地域においては、人口減少と高齢化が進む中、農業従事者の高齢化と減少、後継者不足及び農業意欲の減退がますます進行している。この状態を回復できるよう、また新規就農者の支援等、三和地域の農業(農業者)を元気づけることが喫緊の課題である。</p> <p>三和地域におけるJAへの出荷を除く、販売機会は、夕焼け市、ミニフレッシュみわの野菜市及びかわい野菜市の3つ(すこやか友誼交流会は現在休止)となっているが、組織の高齢化等で弱体化していることもあり、販売は不振である。そのため、農業者ネットワークづくり、新しい農業ビジネスの確立及び工夫をこらした販路開拓などにより販売機会数を増やしていく。</p> <p>令和3年7月で地域おこし協力隊の任期が終了するため、3年間の調査報告、三和町に移住して感じたこと、三和町への提案などの報告を行い、次の取組に活かせるようにする。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	08 三和荘幹設備整備改修事業											
事業担当	所属	02080000 地域振興部 三和支所					所属長	三和支所長 岡部晴朗				
会計情報	事業コード	130208	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	頁
施策体系	施策コード	060302	施策名	観光施設・交流施設を充実させる								
計画期間	開始年度	平成17年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名							
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合											
関連事業	三和荘等施設管理運営事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	指定管理委託をしている三和荘及び関連施設の継続的で効果的な施設運営を確保するため、施設や備品の改修、修繕整備を行い、利用者の満足度の向上と集客の確保を図る。											
対象者	施設利用者	対象者数	150,000	単位あたりコスト	0.0							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・三和荘及び関連施設の行政側で行うべき修繕で、浴場のろ過装置や体育館の自動火災報知設備の修繕を実施した。 ・三和荘の厨房設備のスチームコンベクションオープンや業務用食洗機の購入を行った。 ・三和荘建築設備の定期報告業務を行った。 ・三和荘の浴室系統の減圧弁設置工事を実施した。 											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容									
	二次公表時記載											

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	16,270	9,949	26,200	予算編成時記入 (3次公表時)
	② 補正予算	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	
	小計(①～③)	16,270	9,949	26,200	
予算財源内訳	① 一般財源	570	4,482	400	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	15,700	0	25,800	
	⑤ その他特財	0	5,467	0	
決算情報	① 流充用額	△ 683	二次公表時記載	0	0
	② 配当予算	15,587	9,949	0	0
	③ 執行額	15,587	二次公表時記載	0	0
	④ 執行率	100.0%	二次公表時記載		
人機工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.29 / 0.04	0.31 / 0.04	0.31 / 0.04	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	2,420	2,580	2,580	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	18,007	2,580	2,580	0	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	宿泊者数	人	5,213/7,000	5199 / 7000	3038 / 7000	/ 7000	7000
利用者数	人	147,801/150,000	130683 / 150000	76275 / 150000	/ 150000	150000	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	修繕及び改修等件数	件	12 / 1	11 / 2	16 / 12	/ 5	5
	単位あたりコスト		243.8	1417.0			
			/	0 / 0	0 / 0	/	0
単位あたりコスト		0.0					

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> 三和荘の施設運営に係わり、館内及び施設修繕等の経費であり、必要な経費である。 基本協定により、経費負担を分けている。 利用者の為の施設運営を行う上で優先度は高い。 指定管理委託している三和荘及び関連施設の円滑な運営を行うため、行政側で行うべき修繕である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> コスト比較より安価になるよう工夫している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 施設規模やイベントから設定する成果目標の利用者数は理にかなっているが、新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言等の影響による利用者の減少を推測するのは困難である。 宿泊者数や利用者数は、毎月報告があり、実績は適切に把握され測定されている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理委託をしている三和荘及び関連施設の継続的で効果的な施設運営を確保するため、施設や備品の修繕整備を行い、利用者の満足度の向上と集客の確保を図っている。 令和2年度は、緊急事態宣言の発令に伴い4月18日から5月31日(44日間)の三和荘の休館によるものと、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、利用者数は7.5万人と大幅な減少となった。 		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 施設の劣化による緊急の修繕対応が課題である。 現在持続可能な運営や利活用の方法など、協議検討を行っており、施設の存続に向けて引き続き検討を進めていく 地域交流拠点施設として平成17年に開設した三和荘を、指定管理施設から直営施設への移行に向けて、利用者の利便性及び満足度の向上を図るための施設の改修の設計を行う。 また、長年の使用により損傷しているテニスコートの人工芝の張り替えを行い、利用者の安全確保と集客増を図る。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	07 三和荘等施設管理運営事業												
事業担当	所属	02080000 地域振興部 三和支所					所属長	三和支所長 岡部晴朗					
会計情報	事業コード	130207	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料		頁
施策体系	施策コード	060302	施策名	観光施設・交流施設を充実させる									
計画期間	開始年度	平成17年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	三和荘基幹設備整備改修事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	指定管理施設運営に関する経費を計上し、指定管理がスムーズに運営されるよう事業を実施する。 指定管理委託をしている三和荘等に対する指定管理業務委託料を支出し、三和地域の中心施設として地域振興、観光、住民の交流・福祉増進を進め、活気あるまちづくりにつなげるべく、健全な施設運営を図る。											
対象者	施設利用者	対象者数	150,000	単位あたりコスト	0.0							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> ()											
委託先・実施主体等	特定非営利活動法人丹波・みわ											
事業概要 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理委託料の支出を行った。 三和荘及び関連施設の指定管理施設経営改善支援業務を実施した。 三和荘の施設リノベーション(改修)アドバイザー支援業務を実施した。 三和荘及び関連施設の指定管理者への新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言に基づく、不可抗力により発生した費用等の補償を行った。 指定管理施設運営に関するマイクロバス車検、修繕、建物共済、排水路土地借上料、自動車重量税に係る経費の支出を行った。 											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容									
	二次公表時記載											

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	31,404	42,713	30,949	予算編成時記入 (3次公表時)
	② 補正予算	0	9,509	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	
小計(①~③)	31,404	52,222	30,949		
予算財源内訳	① 一般財源	1,172	14,590	1,117	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	30,232	37,632	29,832	
決算情報	① 流充用額	4,285	二次公表時記載	0	0
	② 配当予算	35,689	52,222	0	0
	③ 執行額	35,689	二次公表時記載	0	0
	④ 執行率	100.0%	二次公表時記載		
人概工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.27 / 0.04	0.32 / 0.09	0.32 / 0.09	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	2,260	2,785	2,785	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	37,949	2,785	2,785	0	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	宿泊者数	人	5,213/7,000	5199 / 7000	3038 / 7000	/ 7000	7000
利用者数	人	147,801/150,000	130683 / 150000	76275 / 150000	/ 150000	150000	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	三和荘マイクロバス法定点検	回	3 / 3	3 / 3	3 / 3	/ 3	3
	単位あたりコスト		10378.7	11896.2			
	情報発信(丹波みわの発行等)	回	12 / 12	12 / 12	0 / 12	/ 12	12
単位あたりコスト		2594.7	2974.0				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> 三和荘の施設運営を行うにあたり、指定管理者制度で行っている。 三和荘の施設運営に係わり、マイクロバス等の修繕、点検等は必要な経費である。 三和荘の経営状態の安定、自主自立可能な施設とすることを目的に経営改善支援業務と施設改修アドバイザー支援業務を実施した 三和荘及び関連施設を継続していくためには、指定管理者への新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言に基づく、不可抗力により発生した費用等の補償が必要であった。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> コスト比較より安価になるよう工夫している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 施設規模やイベントから設定する成果目標の利用者数は理にかなっているが、新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言等の影響による利用者の減少を推測するのは困難である。 宿泊者数や利用者数は、毎月報告があり、実績は適切に把握され測定されている。 同等施設の研究等、日頃より努力が見える。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> 計画的に毎年実施している三和荘の運営に係わる事業として、一定評価できる。 三和荘のPR活動は市内外、各団体、新聞記事での掲載、個別の営業活動等、精力的な営業活動が行われている。また、季節の食事コースや合宿向けの内容等常に変化を加え、結果、毎年15万人近い利用者実績となっているが、令和2年度は、緊急事態宣言の発令に伴い4月18日から5月31日(44日間)の三和荘の休館によるものと、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、利用者数は7.5万人と大幅な減少となった。 令和2年度は、緊急事態宣言の発令に伴う休館、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で各種イベントが中止となったため、情報発信の丹波みわは休刊となっている。レストランや合宿向けチラシは年間30回発行されており、PR活動は行われている。 		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 建物共済や土地及び建物の借り上げに係わる経費やマイクロバスについては施設の運営上必要なものであり、継続して実施していく。 令和4年度から三和荘等の施設全体を市が直営で運営する予定である。 レストランや宿泊施設などの部分については民間ノウハウを活用するなど、運営方法を検討していく。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--